

【令和8年度 社会科授業改善推進プラン】

社会科で身に付けさせたい力・目指す生徒像

社会科で身に付けさせたい力は、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究し解決する活動を通して、広い視野に立ちグローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成に必要な公民としての資質や能力である。そのためには、社会に対する関心を高めるとともに、様々な資料等から適切に必要な情報を読み取り、社会的事象について多面的・多角的に考える力が必要である。そこで、今年度も資料から読み取った内容をもとに考察し、ふさわしい用語や言葉を使ってまとめたり、発表したりする授業に重点的に取り組む。また、ふさわしい用語や語句を使って自分の意見を表現できるように、知識・理解の定着を図る。

学習状況及び課題

	1 学年	2 学年	3 学年
学習状況	意欲的に授業に臨むことができ、毎授業で自分から発言する生徒が多くみられる。特にグループ学習では積極的に教え合う姿が見られる。	チャイム前着席ができていて、時間を有効活用できている。また、意欲的に学習に取り組む生徒が昨年度よりも増えた。自らの考えをまとめたり、表現したりすることが苦手な生徒が一定数いる。	知識・理解の深化が見られる生徒が多い。また、昨年度から少しずつ自分の意見を書くことができる生徒が増えてきた。一方で見通しを立て、自ら課題を解決しようとする姿勢を育む必要がある。
指導上の課題	全体学習・グループ学習では順調であっても、個人学習になった時に自分の意見・考えを論理的に説明する力に課題がある生徒がいる。	学習意欲が特に高い生徒とそうでない生徒との差が大きい。また、各授業の学習課題や単元のまとめに対して、正対できていない生徒が多い。	各授業の学習課題や単元のまとめに対して、正対できていないことや、内容が深められていない生徒が一定数いる。

改善プラン

	1 学年	2 学年	3 学年
学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・単元学習シートを活用して授業内容を自らの言葉でまとめる。 ・ワーク・スタディサブリを活用して知識を増やし、単元ごとにテストを実施して知識の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料や映像を活用して全ての生徒が意欲をもって取り組めるよう工夫する。 ・自分の考えを表現する場面を増やし、学習活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の初めの授業で見通しを立てやすく、自らの実生活に沿った課題を設定する。 ・ワークを活用してさらに知識を増やし、毎週テストを実施することで、知識の定着を図る。
指導面	<ul style="list-style-type: none"> ・単元学習シートに生徒が考えをまとめやすい問いを設定し、自分で考えをまとめる経験を積ませる。 ・単元の終末では教員が例を示すことで、自分の考えについて意見や根拠、具体例を明示して記述できるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元学習シートに生徒が考えをまとめやすい問いを設定し、自分で考えをまとめる経験を積み重ねさせる。 ・自分の考えを表現する場面を増やし、教員と生徒、生徒と生徒などの対話を中心とした授業を実践していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら問いを立て、その解決に向けての学習ができるように授業を組み立てる。 ・自分の考えを表現する場面を増やす。また、学習課題に対して、全体で整理をしてから、まとめの記述時間を設けるようにする。

評価

- ① 授業アンケート結果による達成度評価
- ② 小テストや定期テスト観点別学習状況による評価
- ③ 提出物による評価